



まちの話題



みんなで交流を

柏寿協会では第2回柏寿祭が開かれ、この日は約600人が参加しました。中庭にある地域交流ホールでは、土幌高原太鼓愛好会や大谷短期大学のよさこいソーラン、音更中学校吹奏楽部の演奏など行われ、大いににぎわっていました。また、くじ引きなどの縁日のほか、出店も多数並び、利用者はおいしい焼きそばやフランクフルトなどを食べながら、久々の晴天を家族と一緒に楽しんでいました。



仲間と協力して 夕食づくり

6月16日から1泊2日の日程で、ジュニアリーダーズキャンプがネイパル足寄で開催され、北部3町(上土幌・土幌・音更)の小学3年生から6年生を対象とした30人が参加しました。親元を離れ自然と触れ合いながら楽しいプログラムを通して、集団行動の大切さや厳しさを学びました。参加した黒田日菜子さん(木野東小5年)は「くんせい燻製作りが楽しみです。友達ももっとたくさん増やしたい」と目を輝かせていました。





いざというときのために



防火意識を高めるため、消防団総合演習が消防署で行われました。小野町長から「蓄積した経験を生かし、町民の生命を守って欲しい」とあいさつがあり、その後標的注水訓練や一斉放水などを行いました。有事の際、迅速かつ的確に消防活動が遂行できるよう、団員は終始真剣な表情で望んでいました。



折り紙を使って生活を豊かに



教育委員会が主催する女性ライフスクールで、折り紙を使ったバラのリース作りが生涯学習センターで開かれました。学級長の松田咲子さんは「バラの形を表現するのが難しかったが、参加者同士で相談しながらできたので楽しかった。もっといろいろなチャレンジしたい」と意欲的に話していました。



読んで、語って、作って



町消費者協会主催によるまわしよみ新聞体験会が共栄コミセンで開かれました。気になる新聞を切り抜き、記事について意見交換をした後、バランスを考えながら模造紙に貼ってオリジナル新聞を作ります。参加者の阿部光江さんは「カラーの記事を入れるところにこだわりました」と話してくれました。



B☆Bと楽しく歩いて健康づくり



ファイターズ応援大使事業と北海道150年記念事業により、北海道と命名した探検家、松浦武四郎の足跡をたどるウォーキングイベントが行われました。参加した高橋葵さん(駒場小3年)は「B☆Bと歩けたし、お母さんと参加できて楽しかった」と笑顔。皆さん、会話を楽しみながら心地よい汗を流していました。